



# 「五島列島トレイルハイク」

## ハイクイベント

### 「五島列島トレイルハイク」

#### 〔イベント目的〕

西海国立公園指定70周年を契機に、九州自然歩道を活用した体験型事業を通じて、生物多様性や自然環境の価値への理解を深めることを目的に企画いたしました。

ネイチャーポジティブや30by30といった国際的目標が掲げられる中、自然を「守る」だけでなく「知り、関わり、活かす」取り組みが求められています。五島列島には、教会群や集落、海岸線、展望地など、自然と人の営みが重なり合う風景が広がっています。本イベントでは「歩くこと」を通じて、それらを自らの足でつなぎ、地形や歴史、暮らしとの関係性を体感していただく機会となりました。

#### 〔概要〕

日程：上五島編2026年2月19日～20日

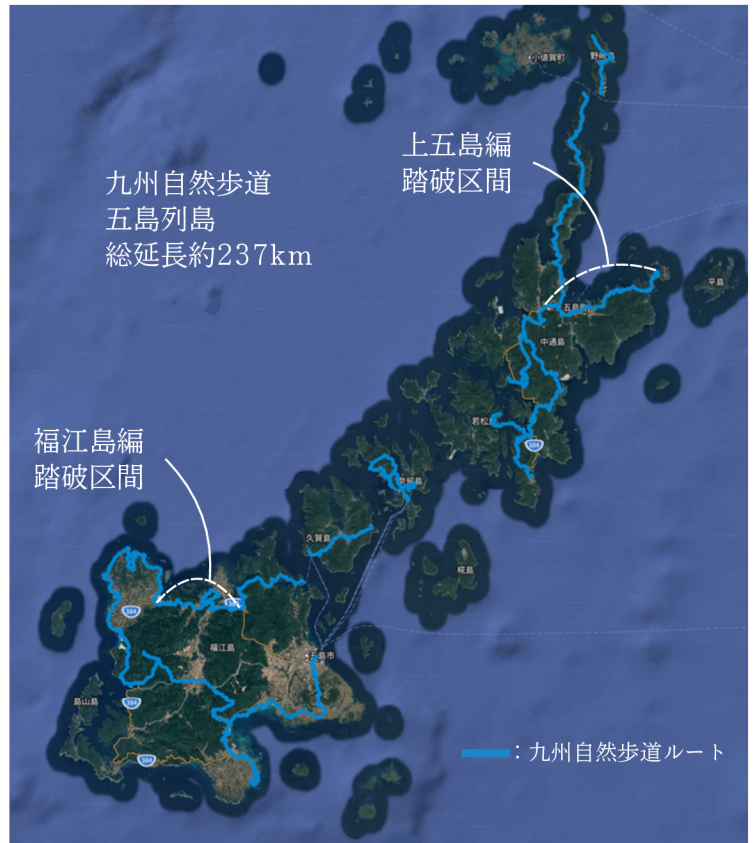
福江島編2026年2月21日～22日

参加者：上五島編 14名

福江島編 20名

#### トレイルコース：

上五島編は、青方・新上五島町役場から歩き出し、青方・七目の峠を越えて、はまぐりキャンプ村に宿泊。翌日は、黒崎峠や赤尾・友住集落を巡り、頭ヶ島天主堂まで歩き完歩。福江島編は、岐宿・河務から楠原地区を抜けて城岳展望台へ登り上がり、魚津ヶ崎キャンプ場にて宿泊。翌日は、打折峠、白良ヶ浜を通り、道の駅遣唐使ふるさと館まで歩きました。



日程	行程	歩行距離
2月19日(木)	13:00 新上五島町役場 集合 ～ HIKE約5km ～ 15:00 はまぐりキャンプ村 到着 ～ 鯨賓館ミュージアム鑑賞 往復約3km ～ 18:30 キャンプ村にて夕食	約8km
2月20日(金)	キャンプ村特製朝食・8:00 キャンプ村 ～ HIKE約12km (有川～黒崎峠～赤尾～友住) ～ 11:40 頭ヶ島天主堂	約12km
2月21日(土)	13:00 福江港 集合～路線バス三井楽線～14:00 河務バス停 ～ HIKE約8km (楠原教会～城岳展望台) ～ 17:00 魚津ヶ崎キャンプ場・地元お母さんたちによる五島郷土料理	約10km
2月22日(日)	8:00 キャンプ場 ～ HIKE約10km (打折峠～白良ヶ浜) ～ 12:00 道の駅遣唐使ふるさと館	約10km

#### 〔ゲスト〕



#### ハイカーたかくら | 高倉悠祐 氏

自然の魅力に惹かれ、四季折々国内外のトレイルを歩き続ける現代ハイカー。静かな森の中で心を整え、険しい山で挑戦心を挑む。何よりも大切にしているのは「道中の発見」と「過程の学び」。ピークハントのみを目的とせず「既にそこに在る小さな足元の幸せに気づく心を養うこと」が重要と考え、仲間とその幸せを分かち合うことを楽しむ。

Te Araroa / NZ 3,000km

PCT / USA 4,200km

ROF / EARTH 40,000km 挑戦中

信条「自然と共に歩むことは日々の活力の源」

座右の銘「山は山を楽しむ者に道を開く」

山と旅の学び「健康に勝るものなし」

趣味：読書と珈琲

大分県日田市出身

#### 〔開催体制〕

〔主催〕長崎県自然環境課 〔企画運営〕(一社)九州自然歩道フォーラム 〔協力〕キッチンハイク九州

〔後援〕五島市、新上五島町、(一社)五島市観光協会、(一社)新上五島町観光物産協会

## イベントレポート

## 〔2月19日・青方～はまぐりキャンプ村〕

快晴の空の下、新上五島町役場に集合し、青方から歩き始めました。以前のイベントで顔を合わせた参加者も多く、出発時から和やかな雰囲気でした。青方峠を越え、国道384号線から七日地区の集落へ。途中、アイスやうどんを販売する「マルマス」さんに立ち寄り、ひと息。七日から蛤地区へは、現在のトンネルではなく昔の峠道を越えていきます。石や倒木もある道を声を掛け合いながら進み、歩くことで地域の地形や歴史を体感する区間となりました。

はまぐりキャンプ村到着後、鯨賓館ミュージアムを見学。捕鯨文化や頭ヶ島天主堂に関する展示の解説を受け、自然と暮らし、信仰のつながりを学びました。夕食は五島うどんや地元野菜、魚を使った鍋を囲みました。ともに調理し食卓を囲むことで交流が深まり、初日はあたたかな雰囲気の中で締めくくられました。

## 〔2月20日・はまぐりキャンプ村～頭ヶ島天主堂〕

朝はキャンプ村特製の朝食から。地元のお母さんたちが手がける食事は参加者にも好評で、温かなもてなしを感じる時間となりました。はまぐり浜を出発し、有川を渡って峠を越え小河原地区へ。2日目も快晴で、海は美しく輝いていました。

ここからアップダウンのある道が続く、立石峠を越え黒崎峠で小休憩。峠を下ると赤尾地区へ。この周辺には五島石の採石場跡が残り、かつて石工たちが暮らしていた歴史を今に伝えています。石材業が生み出した独特の住宅景観を見られました。友住地区を過ぎ大橋を渡って頭ヶ島へ。流れの速い潮や岩壁の景観を眺め、最後は里みちを下って頭ヶ島天主堂に到着。上五島編の約20kmを歩き終え、海と信仰をつなぐ道を踏破しました。

## 〔2月21日・河務～魚津ヶ崎キャンプ場〕

福江島編は、福江港から二次交通活用目的で路線バスに乗り河務へ。湾沿いの道を進み、山へと続く自然歩道に入ります。鰐川を渡り、楠原地区では楠原教会を望みながら歩みを進めました。楠原から城岳へは林道区間が自然歩道ですが、今回はより魅力的な登山道を選択。よく整備された歩きやすい道を登り、城岳展望台へ到着！展望台からは魚津ヶ崎の半島まで見渡せる絶景が広がり、参加者からも歓声が上がりました。その後、舗装路を下り、火山地形によって形成された田園風景から漁師町を通過して魚津ヶ崎キャンプ場へ。夕景が美しく広がる時間帯の到着となりました。

到着後は、参加者のご厚意で特別なフットケアセミナーが行われ、歩いた足を丁寧にほぐす時間となりました。夕食は地域のお母さんたちによる郷土料理。漁師による魚さばきの実演もあり、地元野菜の煮物や寿司などを味わいました。食後にはゲストの高倉さんによるトークショーを開催。旅の経験や歩くことへの思いを語る時間は、参加者にとって印象深いひとときとなりました。

## 〔2月22日・魚津ヶ崎キャンプ場～道の駅遣唐使ふるさと館〕

最終日も晴れやかな朝を迎え、朝食を済ませて出発。水ノ浦教会を経て、海沿いの道を進みます。国道384号線を軸にしながらも旧道を通り、地域の風景や暮らしを感じられる自然歩道を歩きます。川原地区を過ぎ、打折峠へ登ると、白良ヶ浜の海岸線や三井楽方面を望む絶景が広がります。途中、雨が降ったりやんだりする場面もありましたが、傘やレインコートで対応しながら歩みを進めました。

峠を下り白良ヶ浜海水浴場へ。最後の約500mを歩き、道の駅遣唐使ふるさと館に到着しました。地場産品の購入や試食、隣接する酒造への立ち寄りなど、それぞれが思い思いに五島の魅力を味わい、バスで福江港の帰路へ。海と歴史、暮らしをつなぐ福江島編も、無事に締めくくられました。

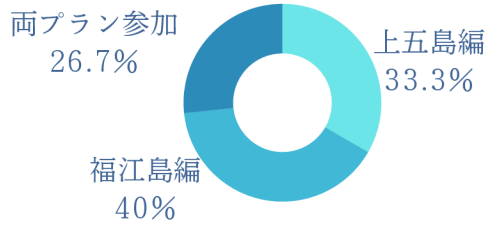


## アンケート結果

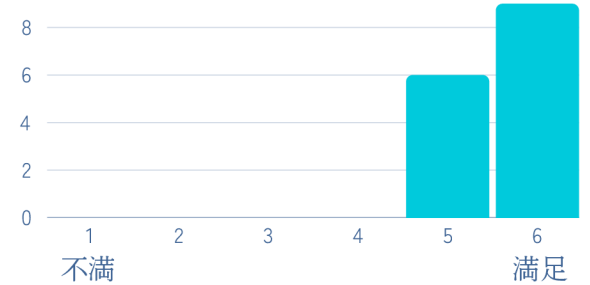
参加者特性 ◇参加者数：24名(両プラン参加9名、上五島編5名、福江島編10名) ※他キャンセル5名  
 ◇平均年齢：上五島編52歳／福江島編52歳  
 ◇お住まい：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、岡山県、千葉県

イベント終了後、アンケートのご協力をお願いし、参加者24名中15名よりご回答いただきました。

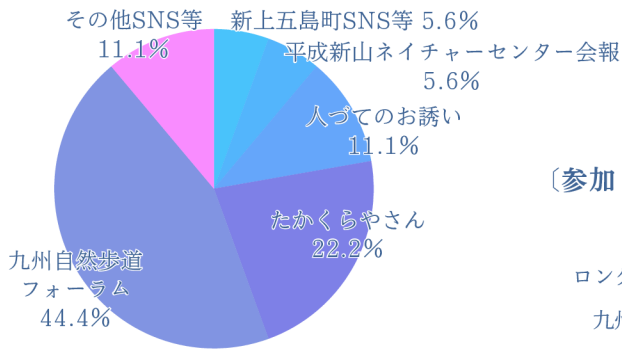
### 〔ご回答いただいた方の参加プログラム〕 ▼



### 〔満足度調査〕



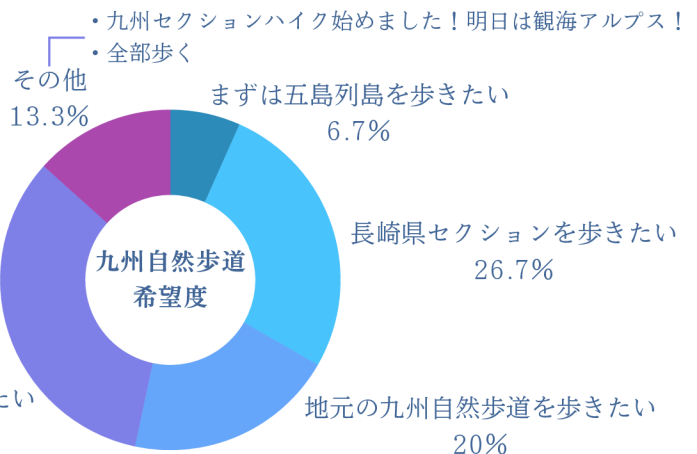
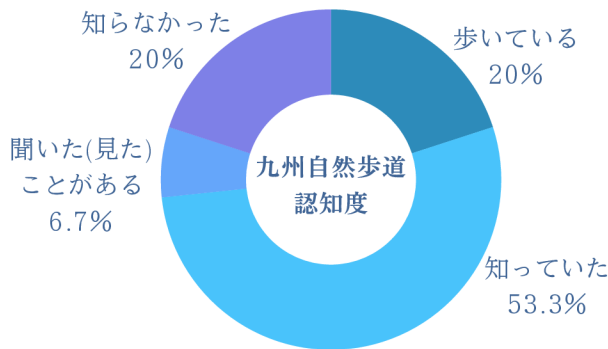
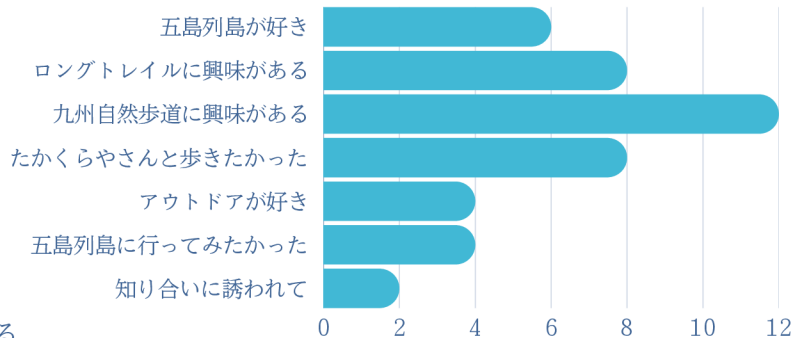
### 〔本イベントを知ったきっかけ(複数回答可)〕 ▼



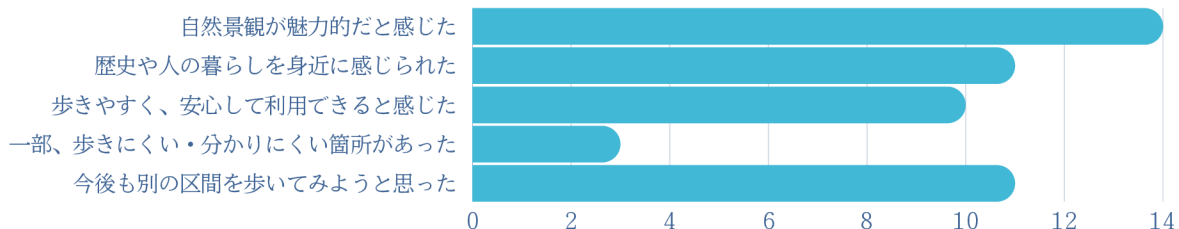
その他SNS等  
 ・インスタ  
 ・メール案内

九州自然歩道のイベントのため、フォーラムSNS等での集客も多く、前回開催の流れからセンター会報やメール案内などでも集客する効果がありました。

### 〔参加したいと思ったきっかけ(複数選択可)〕 ▼



### 〔実際に九州自然歩道を歩いてみて、どのように感じましたか？(複数選択可)〕 ▼



〔今回のハイイベントで良かった点（抜粋）〕

参加者からは、五島列島の自然景観や教会群などの歴史・文化を、自らの足で歩きながら体感できた点が高く評価されました。また、博物館や教会への立ち寄り、ガイドや関係者による解説を通じて、地域の自然や暮らしへの理解が深まった点も良かったとご意見いただきました。

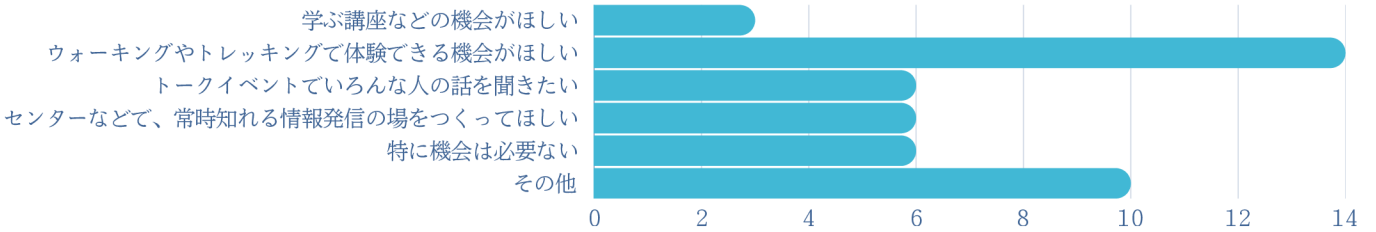
- みんなと歩けたこと、五島列島という場所そのもの(景観や歴史)、滋味あふれる食事、立ち止まり声をかけてくる島民との関わり、博物館や教会に立ち寄ったり案内板を読む時間があったこと、地元ガイドさんが教えてくれる現地情報、参加者同士でのおしゃべり。歩く体験、情報収集、知的好奇心が満たされ、また刺激された。
- スタッフ、参加者の皆さんが全員素敵な人だったこと。地元の食材を使った夕ご飯がとても美味しく大満足でした。景色も最高でした。
- ゲストハイカーと歩けたこと。名札を使って、名前を呼んでコミュニケーションが取れたこと。フットケア体験。地元の方との交流(食事等)。特別トークショー。
- 自然豊かな五島列島を自分の足で歩けた事
- 知らない土地を歩くのは興味が尽きず楽しかった。

〔今回のハイイベントで改善してほしい点（抜粋）〕

主に食事の段取り等へのご意見が多く、特に事務局の準備や提供の遅れ、役割分担の不明確さ、会場の制約が指摘されています。また、事前案内やトイレ環境、歩行時のグループ管理などの細かな改善点も挙げられました。地域らしい柔軟さとのバランスを保ちながら、運営の質向上が求められています。

- 晩御飯がお鍋だったのですがキッチンが狭く準備に手間取った。またお鍋もみんなで囲んで食するほうが良かったと思う。変な間があり美味しかったであろうお酒もあまり楽しめなかった。
- まったく使われていない山道を自然歩道として歩くことが果たしてという疑問を感じています。
- (時間があればですが) 歩くことがメインだとは思いますが、特徴的な地形や動植物はもっとじっくり見たかったです。
- 撮影者が多かったのが気になった。youtuberさんは全く知らない方だったので沢山ご説明いただいてもピンと来なかった。でも知っている方はとても嬉しかったと思います。(時間があればですが) 歩くことがメインだとは思いますが、特徴的な地形や動植物はもっとじっくり見たかったです。
- 夜ご飯はとてもとても美味しかったのですが、お手伝いしようにも場所が狭く環境も整っていなかった。現地とのしっかりした打合せや、もう1人スタッフを入れて皆さんが到着する前に下拵えをして置くなど、もう少し前準備が必要。個人的にたかくらやさんのお話を楽しみにしていましたので残念でした。そして私は参加者自身の手伝いが必須だということを把握しておりませんでした。直前の参加申込だった為、資料をいただいているのか、読み飛ばしているのか。結果、お手伝いはとても楽しませていただきました。フランベよかったです!!

〔九州自然歩道について、知ったり体験する機会は?(複数選択可) ▼〕



〔開催してほしい九州自然歩道イベント(抜粋) ▼〕

- 歩き旅ツアーの継続
- 各県ルート紹介、魅力紹介の発表会
- 今回の福江島ルートでトレイルクリーンを行いたい
- 今回歩いていない五島の九州自然歩道ツアーがあれば申し込みたい。後は自然歩道の中でも秘境に行けるイベントがあれば行ってみたい。
- またぜひ参加したいです。今回は食があまりに大満足でした。歩く楽しみだけでなく、美味しい食があるとなお参加したいイベントになるなぁと改めて思いました。
- 福岡、大分、宮崎、阿蘇、人吉でのツアー

〔その他ご意見感想(抜粋) ▼〕

- いろんな人たちと話す機会がありまして凄く勉強になるトレイルでした。九州自然歩道をいろんな人に知ってもらうきっかけを作りたいです
- イベントの雰囲気などから、九州自然歩道がこれからますます発展していく未来が感じられてうれしく思いました。
- 九州自然歩道の保全活動についても何かできれば面白いと思います。
- 初めての参加、初めての五島上陸とても良い時間を過ごさせていただき大変ありがとうございました。遠くから来られた方も多かったみたいだし、また機会があれば参加してみたいと思います。

